

江東区観光推進プラン(後期)素案

区では、平成23年3月に「江東区観光推進プラン(平成23年度～32年度)」を策定し、本プランに基づいた観光施策を展開し、全区的な観光推進組織である「(一社)江東区観光協会」を立ち上げました。本プランの中間年にあたる今年度に、これまでの取組みや社会情勢等の変化を後期プラン(平成28年度～32年度)に反映させるため、見直しを行います。

このたび素案の概要をお知らせするとともに、パブリックコメント(意見募集)を実施します。

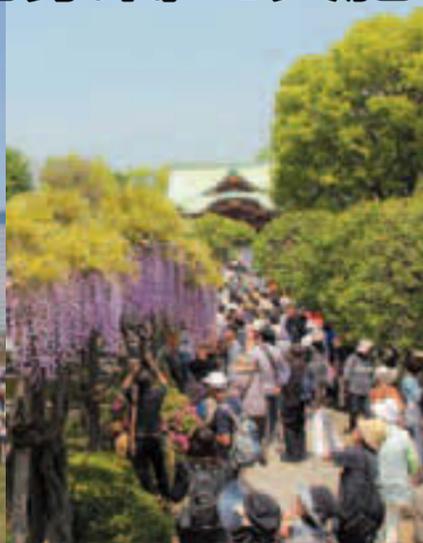
パブリックコメント(意見募集)を実施



▲深川八幡まつり



▲湾岸エリアのにぎわい



▲亀戸天神藤まつり

素案に対するご意見をお寄せください

プラン(素案)に対する皆さんのご意見を募集します。全文は、区ホームページ、こうどう情報ステーション(区役所2階)、文化観光課(区役所4階33番)で閲覧できます。いただいたご意見や区の考え方は、後日、区報・区ホームページで公開します。なお、ご意見に対する個別回答は行いませんので、ご了承ください。

【意見募集期間】

11/21(土)～12/14(月)必着

【意見の提出方法】

①氏名②住所③性別④年齢⑤ご意見(区外の方は在勤、在学等も)を記入し、郵送(区報掲載のはがき等)・ファクスまたは文化観光課(区役所4階33番)窓口へ。区ホームページからも提出できます(電話受付は行いません)。

☎文化観光課観光推進係
 ☎3647-3312、FAX3647-8470

観光推進プラン策定スケジュール

11/21(土)	意見募集開始
12/14(月)	意見募集締切
平成28年3月	プラン策定・区議会への報告
平成28年4月(予定)	区民への公表

江東区観光推進プラン(後期)素案の概要

【計画改定の背景】

前期行動計画の達成状況とともに、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定や訪日外国人旅行者の急増など、プラン策定後の環境変化を踏まえた内容とします。

【計画改定の目的】

国の「観光立国実現に向けたアクションプログラム2015」、「東京都長期ビジョン」、「江東区オリンピック・パラリンピックまちづくり基本計

画」等とも整合性を図りながら、「江東区長期計画(後期)」の施策である「地域資源を活用した観光」を実現するために改定します。

【計画期間】

平成28年度～32年度(5か年)

【計画の改定体制】

観光団体や商業団体・区民団体などで構成する「江東区観光推進プラン改定会議」での意見を反映しました。

観光推進のもたらす効果

現プランの観光推進のもたらす効果を継承し、区民と来訪者の満足度を高める効果(①②)と、観光により生ずる波及効果(③④⑤)という2つの視点で、本プランが目指す方向性を明示しました。



郵便はがき

1 3 5 8 7 9 0

001

江東区役所 地域振興部
 文化観光課 観光推進係 行

(受取人)
 東陽四丁目11番28号



差出有効期間
 平成27年12月14日まで

(切手を貼らずに
 お出しください)

(きりとり線)

(きりとり線)

江東区観光推進プラン(後期)素案の全文は、区ホームページ(トップページ→開かれた区政→パブリックコメント)からご覧ください。

TOKYO 2020
 オリンピック・パラリンピックを
 成功させよう!

江東区観光推進プラン(後期)の体系

江東区基本構想 江東区の将来像
みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東

江東区長期計画(後期) 施策の大綱
区民の力で築く元気に輝くまち

観光推進コンセプト

発見する つなぐ みんなでつくる

観光推進方針

- 「江東区ならではの」魅力を活かした観光
- 「区民とともにつくる」観光
- 国・都・広域連携による観光
- 「集客ビジョン」による効果的な観光

基本施策

魅せる 伝える 交わる 支える 進める

重点プロジェクト

水 辺 スポーツ 食 アート ひ と

それぞれの魅力を活かす!

観光推進方針

プラン策定時に定めた観光推進コンセプトに基づき、4つの方針を示します。

1. 「江東区ならではの」魅力を活かした観光

地域の歴史や文化に根差した、他の地域にはない江東区の魅力を活かした「強み」による観光を推進します。

2. 「区民とともにつくる」観光

区民と来訪者がともに楽しめる観

光を推進します。

3. 国・都・広域連携による観光

来訪者の広域的な動きを見据え、国や都との連携や広域連携による観光を推進します。

4. 「集客ビジョン」による効果的な観光

区内各エリアの特徴と魅力を踏まえつつ、ターゲットとなる来訪者の特性も意識した集客ビジョンによる効果的な観光を推進します。

江東区観光推進プラン(後期)素案について、具体的な箇所へのご意見をお聴かせください。
意見募集締切:12/14(月)必着

氏名		性別	男・女
住所			
年齢	20代以下	30代	40代 50代 60代 70代以上

※いただいた個人情報は、本パブリックコメント以外の目的には使用しません。

基本施策の体系

課題に対応するため、5つの「基本施策」とそれぞれの戦略を掲げ、施策実施後の達成度を測る指標を設定します。

1. 魅せる

「江東区の魅力」を最大限引き出す観光資源を発見・再評価し、ストーリーをつくりまします。

【戦略】

○『江東区の魅力(「水辺」「スポーツ」「食」「アート」「ひと)』を活かした観光戦略

【指標および現状値】

- 観光客数 4,300万人
- 日帰り観光地点来訪者の1人当たりの観光消費額 4,480円
- 1回の来訪当たりの滞在時間が4時間以上の人の割合 29%
- 魅力的な観光資源が多いと思う区民の割合(新規) 72%
- 江東区の満足度(新規) 28%
- 江東区の再来訪意向(新規) 33%

2. 伝える

新たな集客ビジョンに基づいた効果的な情報発信、旅行段階に応じたきめ細かな情報提供を実現します。

【戦略】

○ICT活用等による情報戦略
○ターゲット別・旅行段階に応じた情報発信戦略

【指標および現状値】

- 観光情報ホームページへの年間アクセス件数 252,808件



まちあるきガイド

重点プロジェクト

観光を推進するため、基本施策の「魅せる」を江東区の魅力を活かした5つのカテゴリーに分類し、重点プロジェクトとして展開します。

1. 「水辺」の魅力を活かす!

水辺の景観を楽しむ、船に乗る、水辺で憩う、水辺を歩くなどの、「水辺」の魅力を活かします。

【取組みイメージ】

- 観光交通としての「水上交通・舟運」の充実
- 「水辺のオープンカフェ」の整備 など

2. 「スポーツ」の魅力を活かす!

「する」「観る」が身近になり、健康づくりにもつながるような「スポーツ」の魅力を活かします。

【取組みイメージ】

- オリンピック競技施設の見学ツアーの開催
- 障がい者の方とともに楽しめるスポーツ活動の提供 など

3. 「食」の魅力を活かす!

下町庶民の食文化をはじめ、江東区の「食」の魅力を活かします。

【取組みイメージ】

- 「江戸前食文化」を学び・味わうガイドツアーの開催

3. 交わる

区民と来訪者が交流して、ともに楽しむ「場」や「機会」を充実します。

【戦略】

○来訪者と区民・観光ボランティアガイド等の交流戦略

【指標および現状値】

- 観光ガイドツアー参加人数 4,167人
- 観光推進活動参加に強い関心を持つ区民の割合 13%

4. 支える

オリンピック施設等の活用や来訪者の行動を支えるインフラ整備を推進します。

【戦略】

○オリンピック競技施設・観光拠点施設の活用戦略

○景観＝ブランド化戦略
○「深川・城東エリア」「湾岸エリア」回遊性向上戦略
○快適で安全・安心なまちづくり戦略

【指標および現状値】

- 案内標識の充実度が適正であると思う人の割合 16%

5. 進める

区民や民間事業者等の「民間活力」の参加を促すとともに、自治体連携も踏まえた官民一体となった観光推進体制の強化を図ります。

【戦略】

○観光マーケティング戦略
○観光推進体制強化戦略

【指標および現状値】

- 江東区観光協会参加の民間事業者、団体数 75団体
- 区や江東区観光協会が地域や他の観光関係団体と連携して展開した事業数(新規) 43事業

○「豊洲市場」の国際的な和食ブランド化 など

4. 「アート」の魅力を活かす!

外国人からも人気のある「東京都現代美術館」、清澄白河周辺のカフェやギャラリーなどの「アート」の魅力を活かします。

【取組みイメージ】

- 「カフェマップ」「ギャラリーマップ」の作成
- 芸術文化を身近に触れる環境整備 など

5. 「ひと」の魅力を活かす!

職人や民俗芸能など、下町ならではの「ひと」の魅力を活かします。

【取組みイメージ】

- 「職人」と出会う江東区の地場産業・伝統工芸体験プログラムの開発
- 外国人との交流を楽しむ体験プログラムの開発 など



旧中川・川の駅オープン(平成25年3月)

観光推進体制の強化

後期プランを実現するため、観光推進体制の強化を図ります。

- 区役所内における進行管理体制の構築
- 江東区観光協会を主体とする観光推進体制の強化

- 区民・民間事業者等の参加による活性化



江東区観光キャラクター コトミちゃん